

## Thiel 法固定遺体を用いた人体の構造観察 —ホルマリン固定遺体との比較検討—

### 1. はじめに

この度は、岩手医科大学にご献体いただきましてありがとうございます。

この文書は、上記の個別研究するにあたり、ご献体登録者には医学研究協力のため献体の生前同意をいただいておりますが、ご家族にもご理解いただくため作成いたしました。ご献体頂いたご遺体は、学術研究のために礼意をもって解剖いたします。

### 2. 研究の対象

2022年4月1日～2030年3月31日にご献体された方  
(全体症例数：20件)

### 3. 研究期間

7年（研究実施許可日～2031年3月31日）

### 4. 研究目的・方法

1992年に発表したThiel法によって固定された解剖実習体は、新しい術式や困難な術式の開発ならびにカダバーサージカルトレーニング（ご献体を用いた若手医師の臨床解剖の知識習得や基本的な手術、検査手技の習得目的に行われる研修）に際して、有効であるといわれてきました。また、Thiel法を用いたご遺体は、筋、血管、神経の質感がほぼ生体に近いまま保たれます。そのため、生体に近い質感の解剖体での研究は、より臨床に即したものとして行うことができます。近年では、筋・関節、手術解剖指導に関連した研究がみられます。しかし、全身の内臓系、血管系、神経系、感覚器系の詳細が分かっていません。

そこで、ホルマリン固定遺体10体とThiel法固定法遺体10体を用いて、全身の内臓系、血管系、神経系、感覚器系を解剖します。その後、2群間の構造の違いを調査し、写真や記録（スケッチやデータ収集）にまとめ、データ解析を行います。

ホルマリン固定遺体で得た解剖学的知見は、解剖学実習の他、医学の発展のための研究に使われます。また、Thiel法固定遺体で得た人体構造の解剖学的知見は、医学生への解剖学実習の手引きとして活用できるとともに、これからカダバーサージカルトレーニングを行う医師に基礎的なデータを提供できます。加えて、全体像を把握することで、先行研究の所見との違いを探索できます。そして、これまでホルマリン固定遺体で調査した動脈系の分布や自律神経系の走行などにおいて、より有効な解釈ができるようになります。

## 5. 研究に用いる対象・情報の種類

対象：学術研究のためのご献体

情報：年齢、性別、病歴、死因 等

保存：情報、特定の個人を識別するための情報（表）、研究記録、手順書は解剖学講座にて永年保存します。

廃棄：研究終了後に廃棄します。

二次利用：将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があり得ます。

## 6. 個人情報の取り扱い

本研究を実施するにあたっては、個人情報の保護、プライバシーの尊重に努力し最大限の注意を払います。研究対象者を分析する際には、どなたのものか分からないようにした上で（個人が分からないように加工して、個人を特定する情報（表）を作成）、厳重に保管します。

研究結果の公表（学会発表を含む）においては、事前にその内容等を研究責任者の承諾を得るものとします。公表に際しては、ご献体登録者本人およびご家族のプライバシーが保護されるように配慮し、また、研究結果の評価に関しては症例検討会での評価のない限り公表しません。

## 7. 研究費および利益相反

研究費は解剖学講座人体発生学分野の講座研究費を用いて行われます。

本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係はありません。

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら次ページの連絡先（連絡担当者）までお問い合わせ下さい。

「4. 研究目的・方法」で述べましたが、どちらの固定法も医学的に貢献できるものです。ただ、どちらの固定法になるかは、これまで固定されたご遺体の数によって変わりますので、現時点では示すことはできません。詳細が知りたい方は次ページの連絡先（連絡担当者）まで直接お問合せ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、対象・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者のご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもご献体登録者本人およびご家族の方に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通 1-1-1

電話：019-651-5110（内線 5831） ファックス：019-908-8014

連絡担当者：岩手医科大学医学部解剖学講座人体発生学分野 助教 金澤 潤

電子メール：kanajun@iwate-med.ac.jp

研究責任者：岩手医科大学医学部解剖学講座人体発生学分野 教授 木村 英二